

令和8年度 加西の教育アクションプランに対する評価指標

評価方法

- ・評価は5段階とし、●のいずれかを満たした場合に、その評価に達成したこととする。
※ただし、「・」は「かつ」を意味し、上にある●を満たす条件とする。
- ・特に記述がない場合は、概ね 大きく上回った：＋5％以上、上回った：＋0％以上、同程度：0％～－5％
下回った：－5％以下 大きく下回った：－10％以下 とする。

基本方針Ⅲ 人生を充実して生きる生涯学習の推進

アクションプラン Ⅲ①	多様な学習機会を提供する 公民館・オークタウン加西での生涯学習
目 標	いつでも、どこでも、誰でも、学んだり学びなおしたりできる機会を充実させます。 公民館では、主催講座、シニアカレッジ「かしの木学園」、公民館登録グループ活動など、様々な形で多様な学びの機会の提供と充実を図ります。 オークタウン加西では野外活動を中心に、様々な体験ができる講座を開講します。 誰もが気軽に立ち寄れる居場所として、施設の整備に努めます。
評価5	●公民館・オークタウン加西において、主催講座を70講座以上開講した。 ・公民館・オークタウンから要望のあった施設整備を9割以上実施した。 ●各講座終了後に行ったアンケートに満足と回答した割合が90％以上あった。
評価4	●公民館・オークタウン加西において、主催講座を60講座以上開講した。 ・公民館・オークタウンから要望のあった施設設備を8割以上実施した。 ●各講座終了後に行ったアンケートに満足と回答した割合が70％以上あった。

評価 3	● 公民館・オークタウン加西において主催講座を 50 講座以上開講した。 ・ 公民館・オークタウンから要望のあった施設設備を 6 割以上実施した。 ● 各講座終了後に行ったアンケートに満足と回答した割合が 50%以上あった。
評価 2	● 公民館・オークタウン加西において、主催講座を 40 講座以上開講した。 ・ 公民館・オークタウンから要望のあった施設整備を 6 割未満しか実施しなかった。 ● 各講座終了後に行ったアンケートに満足と回答した割合が 50%未満であった。
評価 1	● 公民館・オークタウン加西において、主催講座が 40 講座未満であった。 ・ 公民館・オークタウンから要望のあった施設整備を 3 割未満しか実施しなかった。 ● 各講座終了後に行ったアンケートに満足と回答した割合が 40%未満であった。

アクションプラン Ⅲ②	歴史文化遺産の保存と継承 文化財保存活用事業
目 標	歴史文化遺産を活かした地域主体の活動や伝統文化、伝統行事の保存継承活動を支援します。歴史文化遺産の調査を進め、新たな価値や魅力発見につなげます。 市内の歴史文化に関する情報は、市ホームページ、SNS などを活用して広く発信します。
評価 5	● 地域団体等による歴史文化遺産の保存活用活動に対する支援を 18 件以上実施した。 ・ 支援対象事業のうち、活用事業の割合が 6 割以上であった。 ● 歴史文化遺産、発掘調査を計画通りに実施し、記録保存、整理を行った。 ・ 歴史文化に関する情報を、市ホームページ、SNS などを活用して 45 回以上発信した。
評価 4	● 地域団体等による歴史文化遺産の保存活用活動に対する支援を 17 件以上実施した。 ・ 支援対象事業のうち、活用事業の割合が 5 割以上であった。 ● 歴史文化遺産、発掘調査を計画通りに実施し、記録保存、整理を行った。 ・ 歴史文化に関する情報を、市ホームページ、SNS などを活用して 40 回以上発信した。

評価 3	●地域団体等による歴史文化遺産の保存活用活動に対する支援を 15 件以上実施した。 ・支援対象事業のうち、活用事業の割合が 5 割以上であった。 ●歴史文化遺産、発掘調査を計画通りに実施し、記録保存、整理を行った。 ・歴史文化に関する情報を、市ホームページ、SNS などを活用して 30 回以上発信した。
評価 2	●地域団体等による歴史文化遺産の保存活用活動に対する支援を 13 件以上実施した。 ・支援対象事業のうち、活用事業の割合が 5 割未満であった。 ●歴史文化遺産、発掘調査を実施したが、記録保存、整理作業に遅れが生じ、一部未処理となった。 ・歴史文化に関する情報発信が 30 回未満であった。
評価 1	●地域団体等による歴史文化遺産の保存活用活動に対する支援が 10 件以下であった。 ・支援対象事業のうち、活用事業の割合が 4 割以下であった。 ●歴史文化遺産、発掘調査を実施したが、記録保存、整理作業に遅れが生じ、5 割程度未処理となった。 ・歴史文化に関する情報発信が 10 回未満であった。

アクションプラン Ⅲ③	歴史文化遺産から学ぶ 加西の歴史学習
目 標	法華山一乗寺、玉丘古墳群、五百羅漢、鶉野飛行場跡など、加西市に残る貴重な歴史文化遺産について、市民が見学や学習する機会を設け、本市の歴史への理解を深めます。 また、発掘調査等で貴重な発見があったときには、見学会を開催し、幅広く市民が学ぶ機会を設けます。
評価 5	●出前講座や講師派遣等を通じて加西市に残る歴史文化遺産について学んだり見学したりする機会を 15 回以上設けた。 ・発掘調査等で貴重な発見があったときには、見学会を開催した。
評価 4	●出前講座や講師派遣等を通じて加西市に残る歴史文化遺産について学んだり見学したりする機会を 10 回以上設けた。 ・発掘調査等で貴重な発見があったときには、見学会を開催した。

評価 3	●出前講座や講師派遣等を通じて加西市に残る歴史文化遺産について学んだり見学したりする機会を 8 回以上設けた。 ・発掘調査等で貴重な発見があったときには、見学会を開催した。
評価 2	●出前講座や講師派遣等を通じて加西市に残る歴史文化遺産について学んだり見学したりする機会を 5 回以上設けた。 ●発掘調査等で貴重な発見があったときに見学会を開催しないことがあった。
評価 1	●出前講座や講師派遣等を通じて加西市に残る歴史文化遺産について学んだり見学したりする機会が 5 回未満だった。 ●発掘調査等で貴重な発見があったときに見学会を開催しなかった。

アクションプラン Ⅲ④	様々なアプローチによって 伝統文化を未来へつなぐ
目 標	播州歌舞伎、住吉神社の龍王舞、東光寺の鬼会など、市内各地に残る貴重な伝統文化を継承し、未来につないでいくための支援を行います。あわせて、市内に残る祭りや伝統文化をはじめ歴史文化の情報を市内外に発信します。
評価 5	●伝統文化を継承し、未来につないでいくための支援制度を設け利用が 10 件以上あった。 ・市内に残る祭りや伝統文化を含む歴史文化の情報を SNS 等で週 2 回以上発信した。
評価 4	●伝統文化を継承し、未来につないでいくための支援制度を設け利用が 5 件以上あった。 ・市内に残る祭りや伝統文化を含む歴史文化の情報を SNS 等で週 1 回以上発信した。
評価 3	●伝統文化を継承し、未来につないでいくための支援制度を設け、利用があった。 ・市内に残る祭りや伝統文化を含む歴史文化の情報を SNS 等で月 2 回以上発信した。
評価 2	●伝統文化を継承し、未来につないでいくための支援制度を設けたが、利用がなかった。 ・市内に残る祭りや伝統文化を含む歴史文化の情報を SNS 等で月 1 回以上発信した。

評価 1	● 伝統文化を継承し、未来につないでいくための支援制度を設けなかった。 ・ 市内に残る祭りや伝統文化を含む歴史文化の情報を SNS 等で発信できなかった。
------	--

アクションプラン Ⅲ⑤	教育的な活動を行う 団体活動支援
目 標	すべての市民が、いきいきと楽しく生活できる環境を創出するために、加西市連合婦人会、連合 PTA、加西市子ども会連合会、加西市青少年団体連絡協議会など教育的な活動を行う団体の活動を支援します。
評価 5	● 団体の活動状況や課題を的確に把握し、事業の円滑化や負担軽減に向けた新たな支援策や発展的な取り組みを主体的に実施した。 ・ 新規の工夫や試みが 2 団体以上で行われた。
評価 4	● 各団体との連絡調整を密に行い、必要な経費の執行や事務手続きを適正かつ円滑に行った。 ・ 新規の工夫や試みが 1 団体以上で行われた。
評価 3	● 例年通りの経費および事務的な支援を継続し、大きな支障なく事務局運営を行った。 ・ すべての団体が前年度と同等の事業を継続できた。
評価 2	● 相談対応や事務手続きにおいて遅れや不手際が生じ、団体側の活動運営に影響を与えた。 ・ 前年度を下回った団体が 3 団体以上あった。
評価 1	● 必要な経費の執行や事務的な支援において重大な遅れや支障が生じ、事務局として十分に機能しなかった。 ・ 前年度を下回った団体が 4 団体以上あった。

アクションプラン Ⅲ⑥	誰もが気軽に利用できる 図書館の利用体制の充実
目 標	誰もが気軽に立ち寄り利用できる図書館を目指して、館内の環境、蔵書や電子図書、レファレンス等の充実を図るとともに、公民館での予約本の貸出や返却ができる体制を充実させることで、利便性の向上を図ります。
評価 5	●週休日の設定に伴って、組織および業務を見直し、柔軟で働きやすい形に改善した。 ・レファレンス充実のための研修を実施した。 ・利用が少ない年代層をターゲットにした企画を実施した。 ・近隣の施設との共同企画を実施した。 ●図書館来館者数が前年度より増加した。 ●図書の貸し出し冊数が前年度より増加した。
評価 4	●週休日の設定に伴って、組織および業務を見直し、柔軟で働きやすい形に改善した。 ・レファレンス充実のための研修を実施した。 ・利用が少ない年代層をターゲットにした企画を実施した。 ●図書館来館者数が前年度と同程度であった。 ●図書の貸し出し冊数が前年度と同程度であった。
評価 3	●週休日の設定に伴って、組織および業務を見直し、柔軟で働きやすい形に改善した。 ・レファレンス充実のための研修を実施した。 ●図書館来館者数の低下が、前年度－10%以内であった。 ●図書の貸し出し冊数の減少が前年度－10%以内であった。
評価 2	●週休日の設定に伴って、組織および業務を見直し、柔軟で働きやすい形に十分できなかった。 ●レファレンス充実のための研修を実施しなかった。 ●図書館来館者数が、前年度－20%以上であった。 ●図書の貸し出し冊数が、前年度－20%以上であった。

評価 1	●週休日の設定に伴って、組織および業務を見直し、柔軟で働きやすい形に改善しなかった。 ●図書館来館者数が、前年度－40%以上であった。 ●図書の貸し出し冊数が、前年度－40%以上であった。
------	--

アクションプラン Ⅲ⑦	園・学校連携やイベント等による 読書活動の充実
目 標	子供たちの読書活動を充実させるために、園や学校と連携して絵本の読み聞かせ、ブックトークなどの出前講座を実施し、図書館の本の貸出や学校図書の相談支援等を行います。さらに、市民全体の読書活動を啓発するためのイベントやニーズに応じた講座を実施します。
評価 5	●絵本の読み聞かせ、ブックトークなどの出前講座を、8割以上の園・学校で実施した。 ・図書館の本の貸出や学校図書の相談支援等を実施した。 ・市民全体の読書活動を啓発するためのイベントやニーズに応じた講座を計5回以上実施した。
評価 4	●絵本の読み聞かせ、ブックトークなどの出前講座を、6割以上の園・学校で実施した。 ・図書館の本の貸出や学校図書の相談支援等を実施した。 ・市民全体の読書活動を啓発するためのイベントやニーズに応じた講座を計3回以上実施した。
評価 3	●絵本の読み聞かせ、ブックトークなどの出前講座を、4割以上の園・学校で実施した。 ・図書館の本の貸出や学校図書の相談支援等を実施した。 ・市民全体の読書活動を啓発するためのイベントやニーズに応じた講座を実施した。
評価 2	●絵本の読み聞かせ、ブックトークなどの出前講座を、4割未満の園・学校で実施した。 ●図書館の本の貸出や学校図書の相談支援等を十分実施しなかった。
評価 1	●絵本の読み聞かせ、ブックトークなどの出前講座を、2割未満の園・学校で実施した。 ●図書館の本の貸出や学校図書の相談支援等を実施しなかった。